

アラブ首長国連邦における社会経済変容と女性の新しいライフスタイル

平成 27 年入学
派遣先国：アラブ首長国連邦
比嘉 千亜紀

キーワード：女性、経済発展、社会変容、教育、インターネット

対象とする問題の概要

アラブ首長国連邦（以下、UAE: United Arab Emirates）は、1971 年にイギリスから独立したばかりのまだ若い国である。1960 年代に石油発掘が始まって以来、国の経済は急成長を遂げた。砂漠が続いていた道は、現在では超高層ビルが立ち並び、これまでの石油依存の経済から脱却を図る為にも、観光業や金融業、不動産業、世界中を繋ぐ自国の航空会社の発展などに力を入れるようになった。

このように UAE 社会で数々の変化が起こる中で、とりわけ UAE 人女性に変化をもたらしたのは教育であった。初代大統領で建国の父とも呼ばれている故ザイド大統領は、幾度となく女性の教育の重要性を強く説いていた。現在では、男性よりも多くの女性が高等教育を受け、素晴らしい結果を残している。そして、教育を受けた女性達は、社会の様々な場所で活躍している。

研究目的

報告者の関心は、UAE における急速な社会経済変容と教育レベルの上昇がどのように女性達のライフスタイルに変化と葛藤を与えているのかにある。女性達は、豊かな生活と高等教育を基盤として活躍しながらも、イスラームにおける教えを大切にしながら生きている。結婚や家族のことなど女性として果たすべき役割を抱えると共に、教育を受けて見出した特技を生かせるような自己表現の場を社会で求め、模索しているのが、現在の UAE 人女性であると考えられる。既存の UAE 研究においても、教育面での女性の飛躍的な進歩や活躍が論じられているものの、その多くはドバイに注目したものである。一方、実質的に UAE 経済を実質的に担っているアブダビに関する事例はあまり紹介されておらず、偏りが感じられる。このことから、本研究ではアブダビでの女性の活躍に着眼し、調査を行った。

フィールドワークから得られた知見について

今回のフィールドワークでは、知り合いの UAE 人家庭にホームステイをしていた。彼らと衣食住を共にすることによって、UAE 人の家庭内における習慣だけでなく、その家族形態や女性達の生活・考え方などについても、身近に観察することができた。訪れた親戚の家庭には、18 歳という非常に若い年齢で結婚しながらも、現在大学に通う女性や、子供を 3 人持ちながら自身の関心であるアートを大学で専攻する女性など、非常に力強い女性達で溢れていた。そういった女性達の社会進出を陰で支える存在として、家事を手伝う外国人家政婦やベビーシッターの存在が見受けられた。また、滞在先の女性達の多くが自身の特技や関心を表現する場として、小規模ではあるが自ら起業することに非常に強い関心を示していた。本調査からは、UAE におけるスマートフォンやソーシャルネットワーキングサービスの普及によって、名が知られることを拒む UAE 人女性達が個人名をさらすことなく、手軽に起業できるよう

になったということを見つけた。加えて、家庭内では人の行き来が頻繁に見られ、「マジュリス」と呼ばれる女性達の集まりが度々催されていた。「マジュリス」での女性達を観察していると、世間話だけでなく、自身のビジネスに関する意見を求めたり、宣伝をする様子も見受けられ、意見交換の場としての重要な役割を担っていることが明らかになった。

今後の展開・反省点

UAEにおける経済発展を反映しながら、女性達の中でも高まる動きとして、起業という研究テーマを発見できたことは、今回の調査における非常に大きな収穫であった。今後は社会経済変容と教育の進歩が影響を与えたものの表れとして、UAE人女性の起業に着目し、それぞれのライフストーリーについても調査してみたい。今回の調査対象は、滞在先の女性やその家庭への訪問者に限られてしまったので、次回フィールドワークで現地を訪れた際には、もっと多くの女性達に聞き取り調査を行いたい。加えて、今回の滞在では、ドバイとアブダビの明確な違いを見出せなかったため、次回はドバイにも多く足を運び、比較を行いたい。



民族衣装に付ける伝統的な飾りを作る女性



報告者が滞在していた部族に伝わる海洋文化を上演する男性



女性達による UAE 各地をイメージして作られた香水の販売

アブダビで開催された日本留学の説明会にて、強い関心を示す女子学生達